

(特非) パートナーシップオフィス

## 大学生による海ごみ問題解決のためのクリーンアップとワークショップ事業

活動地域  山形県

LOVE BLUE助成

2年目

実践

WS延べ参加者 **95人**

清掃により清潔度  
ランクが1になる **1ランク**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**

### 苦労した点と工夫した点

#### ■苦労した点

より漂着が著しく人口減少が激しい離島・飛島での活動を昨年に続き企画したが、新型コロナウイルス禍で来島自粛要請が出たり、宿泊活動の制限が出たりしたため叶わなかった。

#### ■工夫した点

感染拡大状況から参加する学生を庄内地域限定、山形県内限定にするなど社会情勢に合わせて事業を進めた。啓発イベントのオンライン化に合わせて映像コンテンツを作成した。



鶴岡市湯野浜海岸(2021/3/15)

### 課題

山形県のごみ問題において沿岸集落の人口偏りや海岸形態によって十分な清掃が実施されない海岸がある上、清掃参加者の高齢・固定化が進んでおり継続性の担保が課題。

### 目標

学生が中心となって新しい年齢層、社会層が主体となった海ごみ問題活動に継続的に取り組んでいく。清掃事業と合わせて発生抑制対策に柔軟なアイデアで取り組んでいく。

### 活動内容と成果

人口減少が進む遊佐町北部の酒田市宮野浦海岸を7月9日、鳥崎海岸を9月15日、酒田市浜中海岸を11月13日、鶴岡市湯野浜海岸を3月15～17日の合計4回にわたって清掃を実施した。延べ95人の学生が参加し、694袋(推定1,300kg)を回収した。清掃に合わせてグループワークを行い社会に海ごみ問題を発信する方法を話し合った。オンライン開催となったやまがた環境展において、漂着物の凹凸を使ってステンシルするTシャツアートの動画を公開した。



酒田市宮野浦海岸(2020/7/9)

### 全助成期間の活動を振り返って

清掃活動については、海を有する沿岸3市町すべての海岸で実施した。2年間で延べ142人が参加し、約1,670kgの海ごみを回収した。

東北公益文科大学を拠点にする学生団体SCOP、IVUSA山形酒田クラブの2団体を協働して事業をすすめた。事業を進めるなかで学生と自治体担当者、色々な関係者との関係を構築した。新型コロナウイルスの影響もあり、海ごみの実態を広める体験型ワークショップなどの実施が叶わなかった。



遊佐町鳥崎海岸(2021/9/15)

〒998-0859  
山形県酒田市大町13-1  
電話：0234-26-2381  
E-mail：npo-po@nifty.com  
HP：https://npo-po.net



今後の  
展望

学生団体では、海岸クリーンアップは年数回のペースで開催する意向を持っているため、引き続き支援を続けていく。